

プログラム名 (40字以内)	離島で教育活動をしよう～奄美群島 瀬戸内町でのキャリア支援～		
団体名/所属	【学生企画】特定非営利活動法人FOS (担当教員:教育学研究科学校教育高度化専攻 教授 勝野 正章)		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動, フィールドワーク体験活動, 農林水産業などに関わる地域体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	7人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2026/8/27(木)～8/31(月)	主な活動予定場所	鹿児島県 大島郡 瀬戸内町(奄美群島)
プログラム実施の目的	離島にくらす子どもたち(小学生～高校生)に対し、探求的な活動によって自ら考え行動する力を獲得するための支援をし、子ども・教育支援を通じた地域貢献・地方創生について考察する。また、子どもたちのキャリア支援活動も行う。さらには、奄美の伝統文化や自然に触れるとともに、地域の人と交流することで東京では触れることのできない経験や視点、価値観に触れる。		
具体的な内容(800字程度)	<p>瀬戸内町は、鹿児島県大島郡に位置し、奄美群島を構成する自治体の一つである。同町は奄美大島南端部および加計呂麻島、請島等の離島から構成され、サンゴ礁や固有種を含む多様な生態系を有する自然環境に恵まれた地域である。また、古来から本土と琉球の架け橋として独自の文化が生まれ、島唄や豊かな食文化、独自の船漕ぎなど多種多様な文化を持つ。</p> <p>一方で、教育環境の観点からは課題が存在する。例えば町内における高校は鹿児島県立古仁屋高等学校一校のみであり、生徒が多様なキャリアパスを検討する上で必要となるロールモデルの不足が指摘されている。</p> <p>また、瀬戸内町では次世代育成及び未来のまちづくりに向けた施策として、児童・生徒が主体的に地域課題を発見・分析し、まちづくりに関して各チームが案を提言・発表する「子どもサミット」を開催している。このような取り組みにおいては、探究学習の方法を子どもたちに身につけてもらい、実践してもらうことが非常に重要である。</p> <p>これらの現状を踏まえ、子どもサミットの開催に合わせた探究学習支援・キャリア支援プログラムを実施する。</p> <p>具体的には、以下のような活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサミットに向けた、探究学習における小中学生・高校生への支援 ・子どもサミットでの各チームにおけるモデレーター ・高校生とのキャリア探索ワークショップ ・勉強法や、進路の決め方など、自身の経験についてのトークセッション <p>また、先述した奄美の豊かな自然や独自の文化に触れる機会として、船漕ぎなどの文化体験をプログラム中に取り入れる他、地域の人々との活発な交流も行う予定である。</p> <p>本プログラムは、離島地域における教育機会の質的向上に資するとともに、離島で育まれてきた豊かな自然や文化に触れ、普段は出会わないような地域の人々たちとの活発な交流を通じて、新たな経験や価値観を得ることをも目的とする。参加者の皆さまが本プログラムや奄美を通じて、多様な価値観に触れ、自身の考え方の視野を広げ、また学びを深めることのできる機会となると考えている。</p>		
【総額】参加するための費用	50,000円～70,000円程度		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	12,000円程度		
【内訳】参加するための費用(交通費)	30,000～50,000円程度		
【内訳】参加するための費用(その他)	7,000円程度		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://npofos.or.jp/setouchi (現在、昨年度段階の記述のままですが、近日中に変更の予定です)		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://npofos.or.jp		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		